

ふれあい部

12月7日(日)
9時~



学校運営協議会だより

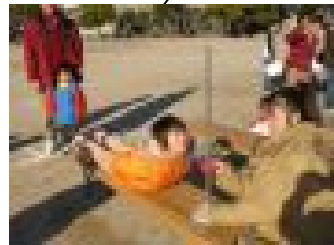
美豆小研究発表会

12月9日(火)

学校運営協議会部会

報告

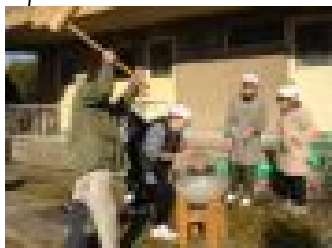
体力測定 もちつき大会



伏臥上体そらし



立位体前屈



お力しを員てた南み
ば測たのの前3。が快
っ定ど。て方日5児も厳晴
てもいをか0童ちしに
いに達いた中ら名・つい恵
ま挑はだ心社を超る護大、ま
んだ、きに会【福祉協議会
後南、し米の議会とP
つ年。のお洗会等T
き補お世米話にのA
た導世話にのA
て主話にのA
の催にのA
餅のなり準の
を、ま備役
ほ体



三部会提案者

文部科学省「コミュニティスクール推進事業調査研究校」指定3年次
京都市教育委員会「教育情報化研究」指定
研究主題 “伝え合いを通して、いきいきと学ぶ子”
～ 国語科を中心とした情報活用能力の育成～



指導助言・講演

京都産業大学大学院 藤岡一郎 教授

7学級の国語の授業公開・4つの研究協議部会が開かれました。
この日、学校関係者・地域・保護者合わせて87名の参加がありました。今年、京都市外から7名(久御山町・石川県・三重県・岡山県等)の参加があり、美豆小の取組を更に広めるいい機会となりました。



熱心に発言する参加者

上の写真は、研究協議会の一つ「学校運営協議会部会」の様子です。

中野会長さんの挨拶に始まった、学校運営協議会部会には地域・保護者・大学生・教育関係者合わせて26名の参加がありました。
学校安全部の藤林孝さん、ふれあい部の岡本征平さん、教育環境部の浮田明さんに活動報告をしてもらい、学校運営協議会の歩み・その組織については、教務主任の池上より報告いたしました。
参加者で現役の小学校校長からは、「美豆小学校と学校運営協議会とのかねあい」「学校とPTAとのかかわり」「京都市：久御山・八幡からも通学しているが声かけは、難しくないか」等多くの質問・意見を頂きました。その一つ一つに副会長木田さんから「子どもの教育は、学校だけでは、出来ない。前はバラバラの組織だったが、学校運営協議会発足後まとまるようになった。」「川で分断されている地域なので、より結びつきが大事という思いが、人々の中にあると思う。」等、丁寧に答えてもらいました。

最後に本校、学校運営協議会理事さんでもあります藤岡教授に指導助言・講演をいただきました。
藤岡教授 講演の中より

- ・学校は「地域の中心・公民館的役割・生涯学習の場」である。
- ・美豆小は、学校運営協議会が立ち上がって2年だが、革新的な内容で情報を発信している。
- ・地域が何よりも、「元気」「本気」である。
- ・活動の規準は、「子どもが元気が」である。子どもの自主性・主体性が大事。